

日刊 労働千葉

82-4-9 No.1014

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(会衆)〇五五(22)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

「許すな新聞」をふりまく反動的デマ

「労働千葉が、3・13ゲリラに
関与していた…」なる

弁護団・支援共闘・反対同盟と共に、 徹底的な糾弾・抗議闘争を展開

去る4月2日と6日の二度にわたり、われわれは東京・大手町にある『サンケイ』新聞本社に対する断固たる糾弾・抗議闘争を叩いぬいた。

周知のように、千葉県警は3月27日にわが労働千葉の組合事務所と役員宅に全く無関係の事件容疑をふりかざして、違法・不当な家宅捜索を強行するという断じて許せない暴挙を行った。われわれは直ちに、これを弾劾し反撃の叩いに立ち上っている。

ところが、権力のこの不当弾圧に依拠し、これにまさることも劣らぬ悪らつなデマ宣伝を行った『サンケイ』新聞を、われわれは絶対に許すことはできない。(別掲記事) 即ち、3月27日の『サンケイ』新聞(全国版)夕刊に、この件に就いて、ことあるように、「『3・13ゲリラ』事件に労働千葉が関与していたことははっきりしたわけだ……」などと断定した記事を掲載したのである。われわれは断じてこのようなデマラメを許さない、全面謝罪・訂正するまで徹底的に追及する。

全くの違法・不当なフレームアップ弾圧 家宅捜索

そもそも、今回の「家宅捜索」攻撃自身が、何らの根拠もない、権力の横暴きりまりない完全なテツク上げ、フレームアップ弾圧を狙ったものである。

「捜索令状」なるものに記載すらされない、無関係書類(例えば、金銭出納簿や定期委員資料など)を集中的に強奪するという暴挙を行ったのである。

既に周知のように「3・13ゲリラ」に就いては、それを実行した政治党派が、即日「吉明を発し、また彼らの株関係等にも具体的報告記事を掲載している」という、誰の眼にも明々白々の事件である。

この不法・不当性は明らかである。われわれが怒りの抗議闘争と全社会的アピールをはじめると共に弁護団の総力をあげて「家宅捜索の不当性、②押収物件の返還」を求めると共に(準報告)

を直ちに開始した直後の4月8日になって、こ息にも電話でコンコンと「押収物件を返還したいから受けとり」に来てくれ」などと泣き事を言ってきたという千葉県警の態度、やり口をみれば一目瞭然である。権力自らが今回の「捜索」攻撃の不当性・違法性を自己暴露し、われわれの断固たる追及の前にあわてふためいているのである。

公安警察のお先棒を
かついで、反動・デマ宣伝
をくり返す『サンケイ』の悪
らつさ。

にもかかわりなく、反動『サンケイ』新聞は、あれほどデマラメな反動記事を載せておきながら、この期におよんでなお、卑劣な「言いのがれ」と「居直り」をきめこもうとしているのである。

4月2日とも、労働千葉片岡教宣部長を先頭に、労働ジェット闘争支援共闘会議代表世話人浅田光輝氏を抗議団長として、三里塚反対同盟市東支部

千葉労働など捜索 成田空港反対 あすの集会に先制

【田中】『サンケイ』新聞が、3月27日、労働千葉の組合事務所と役員宅に違法・不当な家宅捜索を強行した。われわれは、これを徹底的に糾弾し、抗議闘争を展開する。あす(4月2日)成田空港反対同盟市東支部主催の集会に先制として、労働千葉の組合事務所と役員宅に違法・不当な家宅捜索を強行した。われわれは、これを徹底的に糾弾し、抗議闘争を展開する。

このデマを許すな! 『サンケイ』は、ただちに全面謝罪・全面訂正をおこなえ!